

タブ 3

「なんか今日の後輩、様子がおかしい…」

台本

舞台: 夕方の家のリビング(静かな雰囲気)

登場人物:

- 女(普段はそっけないが、後半で大胆な行動をとる)
 - 男(やや鈍感だが、女の変化に戸惑う)
-

シーン1(カメラ視点: 男性目線、女がソファでスマホをいじっている)

男「お前、今日は静かだな。」

女「別に。先輩が来たからって、特に話すことないし。」

男「え、なんか冷たくない？」

女「いつも通りだけど？」

男「いや、そんなことないだろ。なんか機嫌悪い？」

女(スマホを置いてチラッと男を見る)「……先輩って、ほんと鈍感。」

男「またそれ？俺の何が鈍感なんだよ。」

シーン2(女が男の袖を軽くつまむ)

女(小声で)「……気づいてほしいのに。」

男「え、何を？」

女(そっぽを向いて)「もういい。」

男「いやいや、それが一番気になるんだけど！」

女(男の袖を引っ張る)「……もうちょっと、こっち向いてくれないかな。」

男「え？俺、そっぽ向いてた？」

女(じっと見つめて、少し頬を膨らませながら)「先輩って、ほんとずるいよね。」

男「は？」

女(不意に男の襟元をつかんで、グッと近づける)「こうやって近づいたら...さすがに気づく？」

男「え、ちょ、近い近い！」

女(男の耳元で)「.....顔、赤いね。」

男「は！？お前が急にこんなことするからだろ！」

女(くすつと笑い)「ふーん、じゃあ次はもっとわかりやすくしよっか。」

男「お、おい！？」

(カメラが女のいたずらっぽい笑顔を映し、男の動揺した声でフェードアウト)